



第 15 回例会

2022. 11. 16

今年度
スローガン
インスパイア

いつもわが身を鼓舞し、仲間の行動を激励し、人に感銘を与える

会員 67 名中	48 名出席	出席率 71.64%
修正 54 名出席		出席率 80.60%
		メイクアップ 6 名

WEBSITE!

イマジン
ロータリー

例会場 クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30

開催日 毎週水曜日 12時30分～

会長 渡邊 正義

幹事 穴戸 隆司

会長挨拶 渡邊 正義 会長



10月29、30日の第22回大声杯リトル野球大会に際して、大勢の会員にお手伝いいただき、お陰さまで無事に大会は終わりました。4チームの参加でしたが、熱気溢れる試合の連続でした。小学校1～4年生までの参加という規定がありますが、皆さん元気溢れる試合で、我々大人もパワーをもらいました。渡辺雅浩様には足の悪いところを最後までお付き合いを頂き、大変ありがとうございました。

11月6日には東京麹町ロータリークラブに大橋パストガバナー他6名で行ってまいりました。会式前の時間を利用して、若林パストガバナー、浅野会長他8名の方に、林パスト会長が中心となりセブ島支援の趣旨を説明し、ご協力をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

11月9日にはまちなか広場で福島消防署主催の防火パレードに参加しました。パレードに参加いただいた会員の皆さまはお疲れさまでした。みその幼稚園の園児たちの元気あふれるパレードに元気をもらいました。これから本格的な冬の季節となり、湿度が下がり火が出やすくなりますので、我々も注意しましょう。

11月12～13日は会津と喜多方で地区大会が開催されました。「感動を共有しよう」のスローガンのもと、県内各地から多くのロータリアンが参集しました。

13日の喜多方会場では、我が福島南RCの黒羽パスト会長がメジャードナー「米山功労者」として、また、クラブとしても福島南ロータリークラブが表彰されました。誠にめでたうございました。また、成蹊高校インターアクトの田中楓香さん、池田華音さんの2名、米山奨学生の于秋麗さんにも参加いただきました。

さて、昨今またコロナが増えてきました。第8波なのでしょうか。今はどこで感染しても不思議ではない状況なので、皆さん極力注意して普段の生活を守りましょう。年末のクリスマス例会は例年家族例会としておりますが、今年はコロナの流行状況を考慮して会員のみで開催する方向で親睦委員長と調整しております。また、インフルエンザについても感染すると一週間は自宅待機になりますので、早めに予防接種を受けた方が良いと思います。

セブ支援および90周年式典出席者へのお祝い金と補助金授与



菅野 良二 会員, 林 克重 会員, 笠 雅樹 会員

90周年行事で会長宛てに招待状を頂いておりますが、会長が出席できないため、代理として私と林さんと笠さんの3人で行ってまいります。

多大な補助金までいただきまして、感謝申し上げます。

11月25、26、27日に式典があり、その中で、今回グローバル補助金を申請している学校も訪問する予定でございます。どういう学校でどのような状況なのかを、我々自身で確認し、帰国後にご報告したいと思いますのでよろしく願いいたします。



今月は私が当番で、ロータリーの友を理解して活用するために、例会でロータリーの友を題材にして話すことになっています。11月号を熟読しようとしたのですが、無理でした。理由は気力は少し残っておりますが、肝心要の目が問題で、白内障、老眼、ドライアイ等、目薬をつけながら読みますが、長くは続きません。しかし、ゴルフボールはよく見えます。

私は若い頃はロータリーの友を熟読しておりましたが、これほど良い冊子を一般の方にも少しでも多く読んでいただきたいと思い、ガソリンスタンド事務所に置きましたが、他の雑誌、新聞も多くあるため、ロータリーの友を読む方は減多になく、一般の方々はあまり関心のないことがわかりました。

当委員会の廣澤委員長から、ロータリーの友を読むのはロータリアンとして当たり前なので、それ以外のスピーチをするようにとの指示がありましたので、本日は、私が今まで行ってきた小さな社会奉仕、職業奉仕の話をしてみたいと思います。私は28歳で入会した創立会員です。当時は当クラブで断トツに若かったです。4～5年はロータリーのことを良く理解できず何となく出席していたため多分出席率は悪かったと思います。その後、こんな事で良いのだろうかと思うようになります。ロータリーの活動として自分に何

か出来ることはないか。四大奉仕のうち、社会奉仕、職業奉仕であれば、地域の発展、安心安全の町づくりに、ロータリー活動から学んだ事、ロータリーの友からの情報を活用し、貢献してみようと思いました。

三つの事例を簡単に申し上げます。一つ目は、貢献しようと思った矢先、私が42歳の時、唐突に杉妻小学校のPTA会長の話が参りました。お話を聞くと、現会長が急にやめる事になり誰も会長を引き受ける人がいない。PTAの方々も私も困り果て、結果して、会長を引き受けることになりました。役員の方々のご協力によりお役目は果たしました。今後このような事にならないように、次期会長には副会長がなる事にしました。私の時は副会長が穴戸清和さん、この時に当クラブに入会しております。その後、喜古勝弘さん、林克重さんと繋がりまして、今はロータリアンです。お蔭さまで杉妻小学校にはロータリー文庫もでき、今も続いております。

二つ目は南福島商工振興会の事です。これも地元ですので喜古会員、林会員にご協力いただいて当時一大イベントとして、南福島駅前通りを封鎖して大々的に盆踊り大会を行いました。ちょうどダイユーエイトさんが黒岩に出店した頃で、当商店街にも多少影響があり、予算も少なかったため、盆踊り大会の景品を浅倉会員にお願いしたところ、快く協力いただきました。当日、私が軽トラでダイユーエイトさんの事務所に参りますと、浅倉社長、役員、社員の方にお出迎えいただき、軽トラに一杯積んでいただきました。盆踊り大会が中止になるまで十数年続けていただき、地元の方々にも大変喜んでいただき、大変感謝しております。

三つめは、私の地区の須川南宮諏訪神社です。田舎神社でお金がなく、毎年赤字決算で、何とかしなくてはいつも頭を悩ませておりました。夜間例会の時、そんな話をしたら、土地活用または利用のアドバイスをいただきました。大変申し訳ないのですが、誰だか忘れてしまいました。私はすぐに立て看板設置と賃貸駐車場として整備に取り掛かりました。今では、補修費をはじめとして、神社護持に役立っております。看板5枚のうち4枚はロータリアンの藤原和雄会員、安齋常克会員、鈴木洋子会員、鈴木恒昭会員にご協力いただき、地域貢献できたと思っております。

また、地域には素晴らしい人材が多くいらっしゃいますので、ロータリー会員の皆さまには、是非自分の地区を見渡し、会員増強に繋げて頂きたいと思っております。最後に、奉仕の行動が生まれたのもロータリーの友を熟読したお陰ですので、友の熟読をお願いします。



私のロータリー入会は、ダイユーエイト社長の浅倉さんです。「入るよ
うに決まったから挨拶に来て。」の一言でした。

浅倉さんから、「仕事を通して『Do it yourself』の時代、そして、ホ
ームセンターが社会に必要とされる時代がすぐそこまで来ている」とい
われたのが30年前のことです。毎年10日間の海外研修に参加し、主に
ホームセンターの勉強をする機会を与您いただきました。バンクーバ
ー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、サンディエゴ、ダラス、シカゴ、
ラスベガス、香港にシンガポールと数えれば限りがありません。ユンケ
ルを飲みながら、朝から晩まで専門家の研修を受け店舗視察をし、帰国
してからはレポート提出、という大変貴重な経験をさせていただきました。
今から20数年も前のショッピングセンターでしたが、どこも当時
の日本には見られない真新しい大型のショッピングセンターでした。店
舗の天井も6m以上あり、例えば、床から天井まですべて便器が陳列さ
れていて空間を有効に商品スペースとして利用しておりました。また、
お客が色のリクエストをするとその場で色を調合してもらえたり、ホ
ームセンターへ行けば家一軒分の材料発注が完成されてしまうという、自
分には異文化の常識にカルチャーショックを受けてしまいました。

近い将来、日本のホームセンター業界も大きく変わると教えられ、そ
の後、日本の商業店舗は床面積の条件が撤廃され、大型店舗の許可が下りるようになったのです。さすが、先見の明を持
った偉大な経営者と感激しました。そして、日本も大型店舗が軒並み出店可能となり、単独店舗からショッピングセンタ
ーの集合体まで経験させていただきました。その頃は私の事務所も朝帰りの日々が続き、ロータリーにも出席でき
ず、ご迷惑をおかけした次第です。能ある鷹は爪を出せ。後ろを見たら誰もいなかったということの無いように！俺につ
いて来い。前を向いて生きよう。俺は浅倉だ！とか言ったような一前向きな人生哲学を教えてくださいました。

しかし、その後、商業店舗は飽和状態になり、今後は別の建築を模索する時代になると言われ、頭が真っ白になりました。
まさにその通りであり、時代も自民党から民主党政権へと変革の時代とも重なり、公共事業も含め、箱物建築は低迷
の時代となりました。それと同時に超高齢化社会への突入となり、福祉関係の仕事の展開が始まりました。

私にはもう一人忘れられない出会いの人がいます。その方はロータリー会員でもあった福田さんです。いつも楽しく、
ムードメーカー的存在で、一緒にいる周りの人々を明るくしてくださる方でした。私が成蹊高校のインターアクトクラブ
の設立準備を任された時も、書類の準備から会場の設営まで何度も話し合いを重ね、協力して頂いた思い出があります。
福田さんは障害のある息子さんを抱えており、サラリーマンの職を辞め、福祉の道に進んだ方です。障がい者の子を持つ
親として、障がい者へやさしい手を差し伸べるべく会社を立ち上げたとおっしゃっていました。そして、福祉の仕事で
できるのも息子さんのお陰であり、息子さんを誇りに思っていたらっしゃいました。常に相手のことを考えて行動する思いや
りのあるやさしい存在で、私に「人を思いやる心」を教えてくださいました。生前は自分の病気のことは口にも出
さず、夜遅くまで仕事をし、自ら弔辞の依頼をするなどご自分を悟っていらっしゃいました。また、特別養護老人ホーム
の施設長を紹介していただいたのも福田さんでした。それは私にとって大きなビジネスチャンスでもあり、その方との出
会いが、今お世話になっている法人でもあります。

次に、私が現在行っている町づくりのお話をさせていただこうと思います。皆さまはロータリークラブに入会し米山奨
学金に寄付されていますが、少額の金額で幸せの形が見えないことに疑問を持ったことはないでしょうか。私は、少々疑
問を感じており、身近な地区で幸せが見えたら楽しいだろうな、との思いがありました。ちょうどそのころ、江戸幕府400
年を機に街道を中心とする町おこしが盛んに行われていました。私が暮らす国見町小坂地区にも奥州街道のサブ街道で
ある羽州街道が通っております。桑折町を起点に青森県の油川まで約500キロの道のりを参勤交代に利用した街道です。
近隣の知人から町おこしの声をかけられ、地域の方々と連携を図り活動を始めたのが、「小坂まちづくりの会」の始まり
です。現在、約50名の方々が参加しています。

県のサポート事業に応募するために、深夜まで小坂宿や羽州街道の文献を調べたり、企画書をまとめ補助金内定を頂き
ました。その資金を基に小坂峠に伸びる急勾配の産坂の整備や旧小坂小土手に花文字等の設置をして小坂地区の魅力づ
くりをし、まちづくりの基盤を作りました。その後は、自分たちのまちづくりの資金調達のため、休耕地を借りてそば栽

培を始め、そば祭りを開催しています。コロナ禍前までは、毎年300名を超える方々にお越しいただき、新そばのほか、バザー等の売り上げをまちづくりの活動資金として活用させて頂いております。今年は3年ぶりに「そばまつり」を開催しようと日々準備に追われております。

このような活動を今まで出来るのもロータリーに入学し、人との温かい出会いがあったからではないでしょうか。

ロータリークラブに入学して出会った皆様には大変お世話になっております。

出会いは「新しい学びの機会」でもあります。人と出会うことにより、個性、価値観、考え方、美学、哲学、人生観等ストレートに刺激を受け、どんどん成長していくことができます。まさに「出会うこと＝勉強」だと思います。出会いを避けることは成長を避けることになってしまいます。人生は出会いがあるから素晴らしく、素晴らしい人と出会うことは素晴らしい宝物を手に入れる事と同じです。出会うことは、新しい自分に生まれ変わることになるのだと思います。

今までの出会いを大切に、また、これからの出会いもより大切にしていきたいと思っております。

会員スピーチ

「自分の仕事を決めた経緯」 松山 敏博 会員



まず、このスピーチの依頼を菊池さんから頂きまして、昨年は会員スピーチをお願いする方でしたので、油断していた所を突かれまして、そっちから攻められるかと思いつつも喜んで(?)ハイと返事してしまいました。タイトルは何でも良いですよと、あの優しい声で何個かお題を示してもらい、じゃあ1番目のこのタイトルで、という風にアンチョコに決めて後悔しています。このあたりの主体性が無い性格が、就職活動に限らず、人生節目の選択の時に関係しているかと思っております。

そんな私が昭和48年に地元の県立工業高校の工業化学科という割と新しい学科を無事優秀な成績で卒業できまして、ご縁が有り石井硝子(株)福島支店卸課として、学業に全く関係の無い会社に入社致しました。

ここで弊社の概要をお話し明させて頂きまして、初代石井喜助が大正13年に水戸で創業しました。東京に出ようかどうかと悩んで、これからは東北だという事で、昭和7年仙台北一番町に個人商店石井硝子店を開業し、その後、昭和20年に法人化をしております。東北6県での硝子工事請負を行ってまいりました。ピーク時には100人位の職人を動かしておったとの話もあったほどです。真意の程は確かでは有りませんが…。

福島支店とはという昭和27年森合に開設致しまして、昭和46年に現在の黒岩浅井に新築移転し、現在に至っております。私は初代から数えて5代目の支店長をさせて頂いております。入社当時は、体格の良い職人がゴロゴロ居て、会社の奥の畳敷きの休憩室に花札・サイコロ・一升瓶が転がっていたのを見てビックリしたのを覚えています。当時の建設業界は当たり前でしたので。建築現場の中でも職種によって序列というかヒエラルキーの様な事もあり、特に躯体業者・鷹さん達に対抗するにはそれなりの体格が必要だったのかもしれない。現在は、そういう事も無くなって来てうちの社員も私も含めて小型化しています。

入社して卸業の配送をしておりました。当時は郡部と読んでおりましたが伊達・川俣・月館方面を商圏としてました、なぜか、ご存じの方もおありでしょうが、市内は野崎硝子さんという地元の有力企業が有り、市内では商売に成らない訳です。そうこうしている内に工事の営業をやって見ないかと声がかかり営業をする羽目になりました。何にも教育とか指導的な事は一切なく兎に角やってみれや・的な営業の始まりで、名刺の出し方、座席の座り方等は営業になったら読む本などで覚えて実践した記憶が有ります。ある意味良く言えば自由、悪く言えば野放し、其れでも当時の大先輩には大分庇ってもらえて今に繋がっていると思っています。当時の工事のお客さんは中央の建設会社様がメインで工事を請け負っていたのですが地元のお客さんは数える程しかありませんでした。先に話したように地元は野崎さんが有り、石井硝子は外様ですので仕事も無いのも当たり前ですね。先輩が行かない、行けていない地元の建設会社・工務店様を片っ端から訪問して廻ろうとしました。これが営業活動の始まりでした。

本タイトルの内容は実は3月卒業・10月石井硝子入社の6か月空白期間に秘密が有り、そちらは機会があればお話しできればと思います。

スピーチは以上ですが、ゴルフ部会で新しい試みとして、経験者の方も、これから始めようとする方も、一度プロの指導の下で基本から学びましょうという企画を計画して先日案内させて頂きましたが、皆様のご協力をお願い致します。

米山奨学金授与 う しゅうれい 于 秋麗 さん

私は11月13日に開催された地区大会に参加させていただき、多くのインターアクターやローターアクターと出会うことができ、とても良い経験ができました。

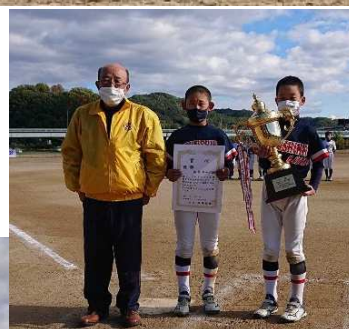
インターアクターとのグループディスカッションでは、私は、母国のことや奨学生として行った活動を皆様に紹介できました。また、インターアクターやローターアクターの皆さまからも話を聞いて、彼らが普段行っている社会福祉活動について知ることができました。この会議を通じて、私は様々な分野で活躍している若者との交流、良い交流ができ、また勉強の場にもなりました。

本当に米山奨学生になったおかげでこれまで経験できない色々なことを経験できました。皆様に感謝しております。



リトルリーグ 第22回大声杯 野球大会

10/29(土)、30(日)の2日間に渡り、福島リトルリーグ創立45周年記念の第22回「大声杯」が、福島南ロータリークラブ主催により、荒川運動公園グラウンドで開催されました。当クラブからは渡邊会長、社会奉仕委員会の小坂委員長をはじめとした7名が参加しました。両日とも天候にも恵まれ、4チームが参加して熱心に戦った結果、地元福島リトルリーグが優勝しました。



防火パレード

秋の火災予防運動の初日である 11/9（水）に、福島市のまちなか広場で福島消防署主催による防火パレードが開催され、当クラブから渡邊会長、宍戸幹事をはじめとして 18 名が参加しました。パレードには「学校法人みその幼稚園」の年長さんが「火の用心の歌」の音楽にあわせて拍子木を鳴らしながら、元気に行進しました。また、福島県の観光 PR キャラクターである「ももりん」、「ブラックももりん」と、鈴木恵美子会員のご家族メリーちゃん、モモちゃんもパレードに加わり、華を添えてくれました。パレードの後は、幼稚園児の皆さんがうれしそうに消防車からの放水も体験していました。



福島成蹊高校 奨学生スピーチ

茂木 瑠星 さん（前回欠席）

この度は福島南ロータリークラブの奨学生に選んでいただきありがとうございます。僕の将来の夢は、防災関係の仕事に就くことです。日本は災害大国と呼ばれているように、世界の中でも自然災害が特に多い国として知られています。毎年、地震や火山の噴火、台風、雷雨等によって、たくさんの方が被害にあい、怪我をしたり、亡くなってしまう方もいます。僕は将来、こういった方を減らすことに携わりたいと考えています。この将来の夢や高校卒業後の希望進路を実現するために、今は文武両道を心掛け、一つ一つのことに丁寧に取り組んでいきたいと思えます。昨年はロータリークラブの奨学生に選んでいただき、とても励みになりました。今年度も選んでいただいた感謝を忘れずに、勉強と部活動に努力し、将来福島南ロータリークラブの皆さんのように、地域に貢献できる人になれるよう、頑張りたいと思えます。

ファイヤーサイドミーティング

「クラブの未来を語る」

11/16（水）に、未来計画委員会の主催でクーラークーリアンテにおいて「クラブの未来を語る」をテーマに、ファイヤーサイドミーティングが開催されました。渡邊会長、松崎委員長をはじめ17名が参加して、お酒を頂きながらグループ討議を実施しました。第一部では松崎委員長のファシリテートにより「クラブ例会」、「クラブ運営全般」について、議論しましたが、議論に熱を帯び、前半のテーマだけでも議論が尽きない状況でした。第二部では林会員のファシリテートにより「新会員へのサポート」、「シニア会員（略称）」について議論しました。いずれのテーマもクラブ活動の充実や会員増強に向けて重要な内容であり、出席者から多様な意見が出るなど、90分間のミーティングでは議論が尽きませんでした。



以上